

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を!

ほっかいどうの社会保障

2013年8月16日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

活かせ憲法 平和でみんなが幸せな社会に

8月15日 終戦の日・年金支給日 全道各地で行動



2ヵ月に一度支給される年金支給日、全道各地で「社会保障の改悪はやめて拡充を、消費税増税するな」の行動が行われました。8月15日は、68年前に終戦した日でもあり、平和を守り創るとりくみも行われました。

札幌中心街では、後期高齢者医療制度に怒る会、消費税廃止各界連、高齢者等9条の会、道社保協などが共同で行動し、60人が参加しました。



年金者組合の渡部委員長は、「今年から年金が引き下げられます。政府は国民会議を受けて年金、医療、介護などにさらに改悪しようとしています」と年金制度など社会保障の改善が必要と訴え。東部民商の中澤事務局長は「消費税は赤字で支払わなければならない税金。今でも零細企業は滞納が多く、増税で廃業、失業者が増えます。財源は利益を上げている大企業と富裕層に求めるべき」と消費税増税を批判しました。9条の会の代表は、安倍内閣の戦争準備の動きを批判し、平和を守るとりくみを呼びかけました。

生活保護不服審査請求のよびかけも



生活保護制度を良くする会の道生連の三浦会長も、「生活保護の引き下げで利用者に不安が広がっています。すべての国民が最低限の文化的な生活を国が保障することは、戦争の反省のもとにつくられた憲法でも定めています。引き下げの撤回を求める不服審査請求は北海道だけで600件を超えています。生活保護基準の引き下げは、最低賃金など他の制度にも影響します。是非、回りの方にも伝えていただき、この運動にご協力ください」と呼びかけました。

ケアマネジャーが、緊急に生保不服審査請求の学習会開く 細川道生連副会長が熱弁

8月16日、北海道民医連はケアマネジャーを対象に、「生活保護不服審査請求についての緊急学習会」を行い、56名が参加しました(テレビ会議)。道生連の細川久美子副会長が講演。生活保護とは何か、生活保護の現状、引き下げによるリアルな実態や影響などわかりやすく説明しました。



参加者全員が生活保護利用者を担当しています。被害の実態明らかにし不服審査請求も呼びかけていくことなど確認しあいました。



今年の社会保障マスター養成講座は9月5日開校

第1回は「すぐに使える、暮らしに役立つ社会保障制度」

生きていくことされ大変の状況が広がっています。すぐに使える、暮らしに役立つ制度について、2013年度『道民の暮らしに役立つハンドブック』を使って学びます。生活相談にも役立ちます。

日時 9月5日(木) 18:30~20:00 場所 道民医連会館
講師 道生連相談員 資料代 500円

2013年度版『道民の暮らしに役立つハンドブック学習会』でもあります。たくさんご参加下さい。

第2回 10/10 「社会保障・税一体改革」VS真の社会保障
講師 山口一秀・社保協事務局長

第3回 11/2 アベノミクスと社会保障
講師 米田貢・中央大学教授

第4回 1/18 どうしたら私たちの要求を実現できる